

経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道せたな町 せたな町立国保病院（病院事業分）

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
7,971	4,331	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

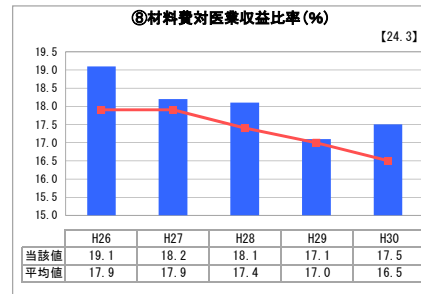
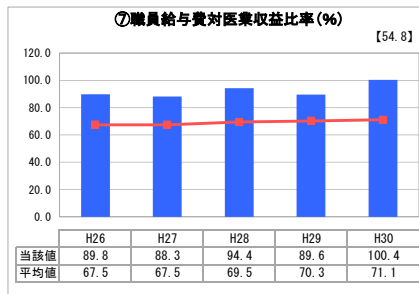
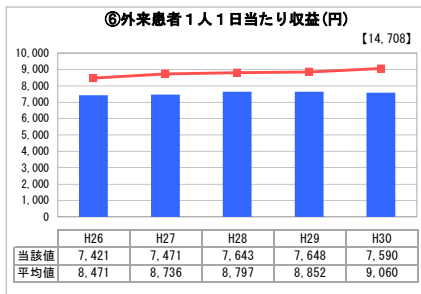
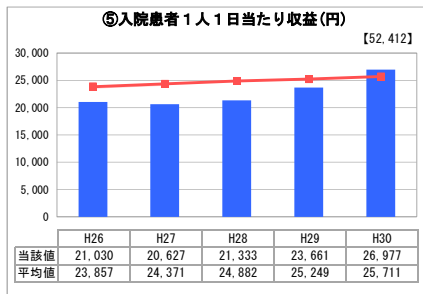
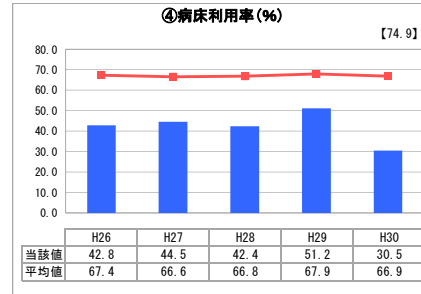
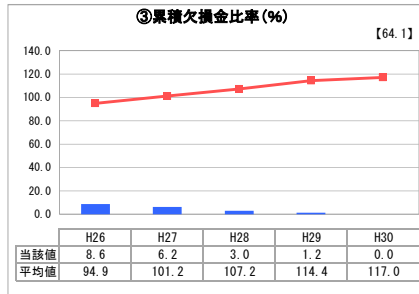
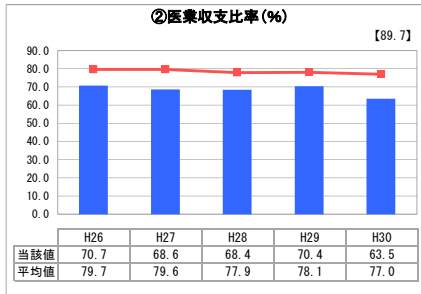
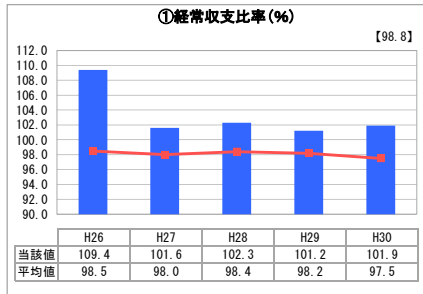
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	37	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	97
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
60	-	60

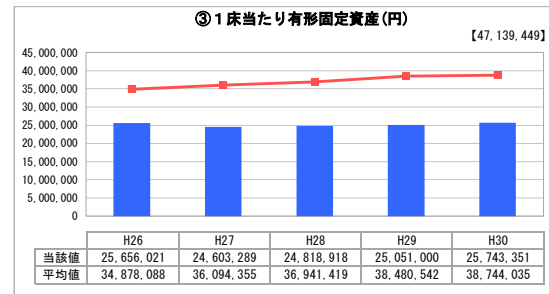
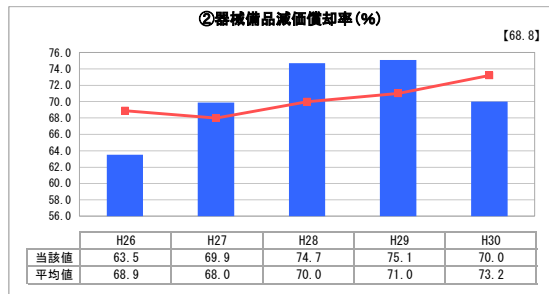
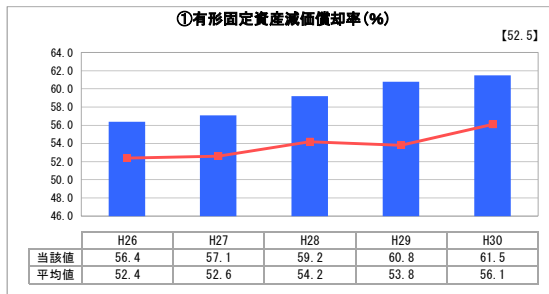
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

- ・一次医療の提供
- ・民間医療機関との連携
- ・二次、三次医療機関との連携
- ・救急告示病院
(24時間365日救急患者の受け入れ)

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支の黒字については、一般会計繰入金によるものであり、これに伴い累積欠損金は解消されたものの、これまで以上の繰入は困難になることが予想されるため、引き続き経営改善に取り組んでいく必要があります。
- ・病床利用率については一般病床60床と、民間病院との役割分担や看護師の効率的配置のため休止した療養病床37床を含む数値であることから当該病床の返還と併せ、病床機能の転換や適正規模の検討を進めています。
- ・新たな診療報酬の加算取得や、SPDによる材料費の抑制など、経営改善に向けた取組を継続しています。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産償却率の増加傾向については建築から45年目を迎える町立国保病院本体施設が主要因となっており、当該施設については療養環境や防災機能の面から建替への検討が必要となっています。
- ・器械備品関係については、国や道の補助制度を活用しながら、更新を図っているものの、過度な設備投資は経営の悪化に繋がることから、計画的な医療機器の更新に努めています。

全体総括

- ・経営比較分析表については、せたな町立国保病院のほか、瀬棚診療所と大成診療所を加えた1病院2診療所の経営比較分析表となっています。
- ・人口減少に伴う患者数の減少をはじめ、医療スタッフの確保、一般会計からの繰入れが困難になっていく背景に加え、老朽化したせたな町立国保病院の建替えに関する検討など、課題は山積していますが、継続して安定した地域医療を提供していくためには、健全な病院運営が不可欠であることから、引き続き、経営の効率化や改善に取り組んでいきます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。